



HONDA

各部の名称

お子さまの安全

シートベルト

警告灯と表示灯

装備の使いかた

GRACE

助手席回転シート車

オーナーズマニュアル

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

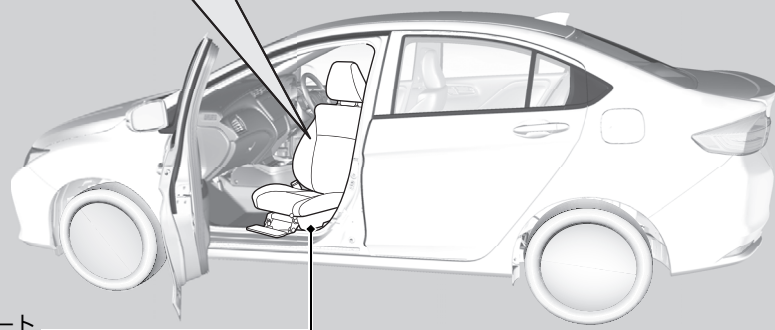
お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

目次



各部の名称	2
お子さまの安全	3
シートベルト	4
警告灯と表示灯	5
装備の使いかた	
助手席回転シートの動かしかた	6
シートへの乗り降り	8

各部の名称



乳幼児の安全

シートベルトで固定するチャイルドシートについて

この車には様々なタイプのチャイルドシートが利用可能ですが、すべてのタイプが適当であるというわけではありません。
次の表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

シートベルト固定タイプチャイルドシート

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ベルト固定タイプ チャイルドシート 重量区分	座席位置			推奨 チャイルド シート ※
	前席 助手席	後席 外側席	中央席	
グループ0 ～10kg	X	U	U	Honda スタンダード
グループ0+ ～13kg	X	U	U	Honda スタンダード
グループI 9kg～18kg	X	U	U	Honda スタンダード
グループII 15kg～25kg	X	U	U	Honda ジュニアシート
グループIII 22kg～36kg	X	U	U	Honda ジュニアシート

記号の説明

U：汎用型(ユニバーサル)チャイルドシートが取り付け可能です。

X：チャイルドシートを取り付けできません。

※：Honda 推奨の純正チャイルドシートです。詳しくは販売店にお問い合わせください。他のチャイルドシートも使用に適しているものもありますが、チャイルドシートメーカーにご確認ください。

※お子さまの安全

お子さまの安全に関する詳細は、本機「オーナーズマニュアル」を合わせてご覧ください。

※シートベルトで固定するチャイルドシートについて

チャイルドシートに関する国連の安全基準であるUN-ECE R44に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。

チャイルドシートをご購入する際は、重量グループに一致したものをお選びください。

チャイルドシートの種類や取り付けの向きにより固定金具(ロッキングクリップ)が必要になる場合があります。

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

シートベルト

シートベルトについて

■シートベルトリマインダー





パワーモードをONモードにしたときや走行したとき、運転席のシートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、ブザーと警告灯でお知らせします。マルチインフォメーションディスプレイ*にも警告が表示されます。

※シートベルトリマインダー

- 運転席シートベルトを着用せずに走行した場合、停車するとブザーは止まります。また、走行している場合でも一定時間を超えるとブザーは止まります。
- シフトポジションを **R** にしたときは後退位置警報装置のブザーが鳴るため、シートベルト非着用の警告ブザーは鳴りません。

警告灯

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ マルチインフォメーション ディスプレイ装備車
	シートベルト 非着用警告灯	<ul style="list-style-type: none"> • 運転席のシートベルトを着用しないと点灯 • パワーモードを ON モードにしたときや走行中、運転席のシートベルトを着用していないとブザーが鳴り、ブザーが鳴っている間は警告灯が点滅 	<ul style="list-style-type: none"> • シートベルトを正しく着用するとブザーがやみ、警告灯が消灯します。 • シートベルトを正しく着用していても警告灯が点灯する場合は、センサーの誤検知などの要因が考えられます。 ■ シートベルトリマインダー P.4	

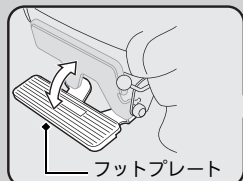
助手席回転シートの動かしかた

■回転操作

グリップを矢印の方向に倒して、シートを回転させる



回転操作
グリップ

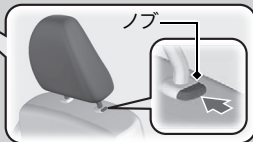


■フットプレート

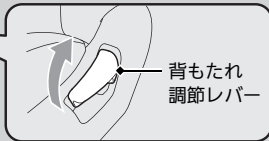
前に倒して使用する

■ヘッドレストの調節

- 高くするとき、引き上げる
- 低くするとき、ノブを押しながら下げる



ノブ



背もたれ
調節レバー

■背もたれの角度調節

レバーを引き上げながら調節

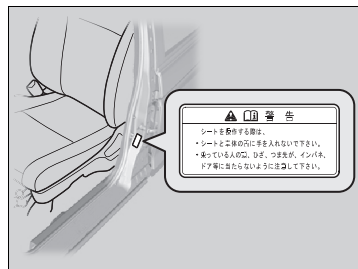
※助手席回転シートの動かしかた



警告

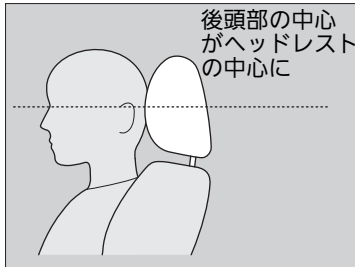
助手席回転の操作時は、下記のことを守る。
シートの操作を誤ると、重大な傷害をうけるおそれがあります。

- グローブボックスが閉じていること、助手席サンバイザーが格納されていることを確認する。
- 回転操作は介助する人が行い、手、足、頭などをはさんだりぶつかけたりしないように十分注意する。
- お子さまには操作させない。
- シートを回転した状態で、車の移動はしない。



回転シートには、チャイルドシートを取り付けないでください。

助手席回転シートヘッドレストの調節



後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調節します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。

低くするとき：ノブを押しながら下げます。

⚠️ 助手席回転シートヘッドレストの調節



警告

ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。
ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッドレストの効果が低くなり、衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

ヘッドレストを外した状態で走行しない。
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

シートへの乗り降り

平坦な場所で周囲の安全を確認して行ってください。

1. パーキングブレーキをかける。
2. シフトポジションが **P** であることを確認する。
3. パワーモードを OFF モードにする。
4. 助手席ドアをいっばいに開けてから、シートに付いている回転操作グリップを操作する。

※シートへの乗り降り



注意

介助される人が背もたれの角度を調節しているときは、ドアを閉めない。

手をはさんでけがをするおそれがあります。

リヤシートに人が乗車しているときは、リヤシートの人のつま先や手などをはさまないように十分注意する。

シートを回転させた状態でドアを閉めると、ドアがシートにぶつかり故障や破損の原因になります。

背もたれが倒れすぎていると、運転席と干渉してシートの回転ができなくなります。

シートを回転させた後は、シートをゆすって確実に固定されていることを確認してください。

アドバイス

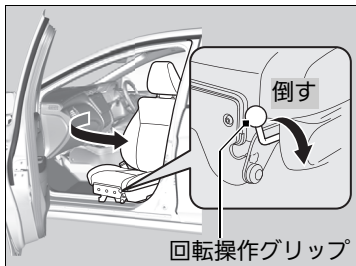
助手席回転シートに乗車可能な体重は 100kg までです。

これを超えての回転操作は、故障の原因となります。

フットプレートに体重をかけたり、ステップのかわりにしないでください。

フットプレートが破損するおそれがあります。

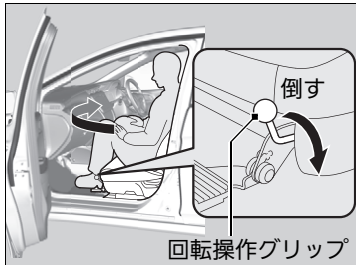
乗りかた



回転操作グリップ



フットプレート



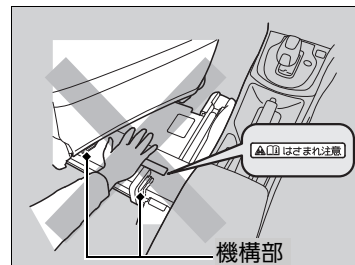
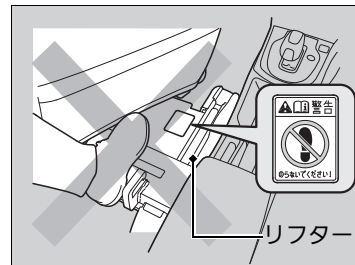
回転操作グリップ

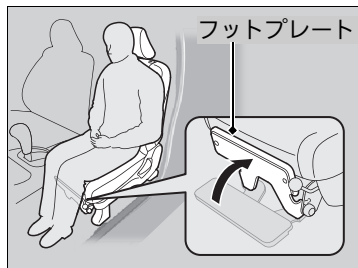
- シートが回転できるように、背もたれの角度を調節する。
- 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。
▶ 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させてください。
- シートにすわり、フットプレートを前に倒して足を乗せる。
- 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。
▶ 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させてください。

※シートへの乗り降り

警告

リフター部に乗ったりものを置いたりしない。
シート作動時に、機構部に近づかない。
はさまれたり、巻き込まれたりするおそれがあります。





5. フットプレートから足を降ろし、フットプレートを折りたたむ。
6. シートベルトを着用する。

降りかた



1. シートベルトを外していることを確認する。
2. シートが回転できるように、背もたれの角度を調節する。
3. フットプレートを前に倒して足を乗せる。

※乗りかた

⚠ 注意

シートが走行位置(格納位置)に戻らないときは、このシートを使用しない。

ブレーキをかけたときなどにシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

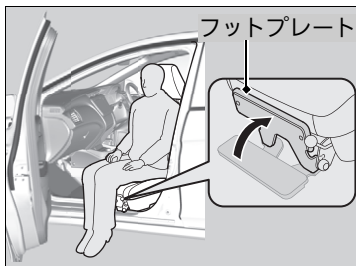
フットプレートに足を乗せてシートを回転させるときに、足が車体にぶつからない位置に乗せてください。

アドバイス

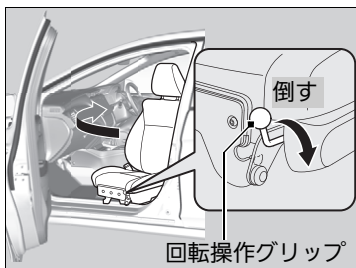
走行中はフットプレートに足を乗せない。
必要以上の体重がかかり、フットプレートが破損するおそれがあります。



4. 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。
 - ▶ 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させます。



5. フットプレートから足を降ろし、フットプレートを折りたたむ。
6. シートから降りる。



7. 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。
 - ▶ 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させます。

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>

(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。

<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※：QRコード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右のQRコードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-112010

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速に対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- ① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
- ② 車種名、タイプ名、走行距離
- ③ ご購入年月日
- ④ 販売店名